Vol.1　2019年7月1日

国民民主党 こくみん

ヤラともPRESS vol.2

確かな政策、新たな提案。　衆議院議員　屋良朝博

Democratic Party For the People

週間朝日　2020年を造る100人の顔の一人に選ばれた

屋良朝博（57）国民民主党衆院議員「日本の安保政策は人倫に反している」

週間朝日が選抜した政治・経済・スポーツの各ジャンルで今年注目する人物100の中に選ばれました。政治分野で15人、次期総理と目される石破、岸田の両議員らも。

昨年4月の補欠選挙で玉城デニー知事の衆院議席継承者として国政へ進出。安倍政権になって辺野古の埋め立て工事が強行されるなど、沖縄の米軍基地問題が解決からますます遠ざかっています。

これまで安保問題とされてきたオキナワを米軍の機能論を根拠に政府の沖縄政策を追求する新しい攻め口が注目されたと思います。この選抜された名誉に恥じないよう努力してまいります。

政治	
石破茂	「次の首相に誰がふさわしいか」の世論調査では軒並み１位。支えは国民の支持
岸田文雄	自民党政調会長。「禅譲」期待で遠慮していたのか、ようやく総裁選で戦う構え
河野太郎	防衛相として訪れた紛争地からもツイート。発信力を武器に、ポスト安倍をうかがう
加藤勝信	２度目の厚生労働相に就任。社会保障政策に熱意を傾ける。首相側近で後継との声もあがる
小泉進次郎	妻の滝川クリステルさんが年明けに第１子を出産予定。大臣、夫として育児にどう取り組む？
武井俊輔	〝嫌韓〟ムードに警鐘を鳴らすツイートに共感広がる。自民党ハト派の若手勉強会世話人
丸川珠代	自民党参院議員。元テレビ朝日アナウンサーの知名度を生かし、一時は都知事選立候補の噂も
枝野幸男	立憲民主党代表。衆参で180人規模の共同会派結成に成功。野党合流でどんな役回りを果たすのか
石垣のりこ	立憲民主党の公約を超えて「消費税廃止」を訴える。「桜を見る会」追及本部でも存在感
山尾志桜里	不倫疑惑など立憲民主党内では騒動が目立つが、東大出の元検察官。国会での本領発揮を期待
玉木雄一郎	国民民主党代表。「改革中道」を標榜する。野党合流後も存在感を示すことができるか
屋良朝博	衆院沖縄３区補選で当選後、国民民主党に。辺野古新基地建設阻止と首里城再建に向けて奔走
田村智子	日本共産党の参院議員。「桜を見る会」疑惑の火付け役。国会で安倍首相を厳しく追及した
山本太郎	れいわ新選組代表。「全国ツアー」として各地を回り、聴衆との対話形式で演説を行っている
小池百合子	最大の案件は都知事選。勝ち抜いて東京五輪を知事として迎えられるか

ワシントンと連携・協力

地球温暖化、経済分配の不平等、感染症・・国境を超えた課題に取り組む

1月中旬、立憲国民党の議員2人とともにワシントンを訪問しました。昨年8月に続き国会議員として2度目の訪米です。米連邦議会の下院民主党で最大の議員集団「プログレッシブ議員連盟」とタイアップする仕組みを構築します。

地球温暖化は待ったなしの問題です。自然災害の自害が大きくなり、海面上昇で島が水没するなど、国境を超えた全人類の課題です。世界の一握りの金持ちが全人類の大部分の富を独占し、自国のことばかり優先する政治が世界で蔓延しています。

私たちは日本の国会で立憲・国民の議員を中心に新たな議員連盟を結成し、米国のみならず諸外国の政治家とつながり、グローバルな課題に取り組む体制を作り上げる準備を進めています。その呼びかけ人として仕事をさせてもらっています。

基地問題もワシントンへ直結

〇辺野古の基地建設に沖縄の住民投票で7割が反対した。
〇貴重なサンゴを含む美しい自然が壊される。
〇埋め立て完成に12年もかかる。
〇それまで普天間の小学校ではシェルターに児童が駆け込む。
〇軟弱地盤で建設は難しい。

これを伝えたら、米議会議員は両手を上げて、「オー・マイ・ゴッド」。民主主義国家ではあり得ない。

～このプレスの配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願い致します～

2020年3月7日発行：衆議院議員　屋良朝博事務所（担当：喜久村）
〒904-2155　沖縄市美原4-22-12ﾋﾟｭｱﾊﾟﾙｸB-203　TEL:098-929-2416　FAX:098-929-2005

衆院本会議　予算委員会で安倍総理に質問
「普天間はすぐに解決できますよ」

2月5日、衆議院予算委員会で質問に立ちました。安倍晋三首相はじめ全閣僚が出席。普天間飛行場の問題の解決策を提案しました。残念ながら、総理は答弁を避けました。

普天間にいま存在する機能を分析すれば、解決策はあります。しかもすぐにでも普天間の運用を停止し、名護市辺野古の埋め立ても不要となります。日米同盟もまったく変わりません。

普天間の機能は3つです。①空中給油機の運用、②緊急時（戦争など大規模紛争）の来援機の受け入れ、③オスプレイ・ヘリコプターの運用。

このうち①はすでに山口県岩国基地へ移転しました。②は福岡県、宮崎県の航空自衛隊に移す予定で、滑走路の拡張工事などの計画が進んでいます。残るのは③だけです。

この③も中身を細かく見れば、大したことはありません。

普天間に配備されているオスプレイ・ヘリコプターは合計50機。通常の運用は、パイロットの飛行訓練、地上部隊との連携訓練です。連携訓練はロープで兵士を吊り下げたり、パラシュート降下訓練を行なったり。沖縄に航空機があって、それを収容する普天間の機能が置かれている理由は、海兵隊の地上部隊が沖縄に配備されているためです。地上部隊との連携訓練に必要なオスプレイ・ヘリは2～4機あれば足ります。予備を入れて、5～6機で十分だそうです。

パイロットの飛行訓練なら沖縄でなくてもいいはずです。1カ所に移す、とアナウンスするとみんなは反対します。それなら九州、四国、中国地方の空港でローテーションで受ければ、負担は薄くなります。

たったそれだけのこと。でも日米安保は大事、という本土の政治家も自分の地元に基地負担が及ぶことを嫌がります。沖縄の基地問題が解決しない原因がそこにあります。

いま、フィリピンがおもしろい
2020年経済成長率6.1%予測（世界銀行）

ビルの写真はシンガポールとかニューヨークとか、深圳など中国の新興地域ではありません。フィリピンの首都マニラにある元空軍基地の跡地です。摩天楼にきれいな街並み。まるで先進国のようなたたづまいです。

昨年8月に視察で訪ずれたフィリピンは見違えるようでした。

私はフィリピンの大学を卒業しました。あれから30年・・。

米軍は撤退し、その跡利用計画が強力に進められています。中国、韓国や欧米からも大規模な資本投下が進み、経済を下支えしています。特に米空軍基地があったクラーク地区はいま、すさまじい勢いで建築工事が進み、近い将来、ITを駆使したスマートタウンが出現するそうです。

1991年、ピナツボ火山の大噴火で火山灰に覆われたクラーク基地。消失した基地内の資産価値は60億円でした。返還跡利用が始まった1993年から現在までに形成された資産は3080億円、実に50倍に膨らんでいます。この数字を見るだけでフィリピンでも米軍基地が経済発展に阻害要因であることは明らかです。

クラーク開発は元米軍基地だけでなく、周辺地域を含め32万haを一体的に開発する予定。軽工業地域、スマートタウン、IT産業地域、居住地域、スポーツ・自然保護地域、ホテルなどレクリエーション地域などとブロック割りして投資を呼び込んでいます。総事業の完成年度を2068年に設定。マニラの副都心となります。

沖縄もこのダイナミズムに乗っかりたい。

飲茶もハンバーグもおいしいぞぉ。

マニラにあるフィリピン国防省アギナルド基地で面談したエスペロン大統領補佐官（国家安全保障担当）。中国との関係で安全保障は厳しいのではないですか？、と聞いたらその回答がすこぶるおもしろいものでした。（下写真の中央が補佐官）

私たち沖縄も尖閣諸島を含む東シナ海の緊張を抱えています。フィリピンも南シナ海の領海争いが中国との間で存在します。フィリピンの国家安全保障を担っている大統領補佐官が何を語るか、とても興味深かったのです。

ところが、肩透かしをくらわされました。

「われわれは戦争できると思うかい」と笑みをたたえながら答えました。戦争に勝者はいない、とのメッセージでしょう。その自然な思考に従うなら、私たちは脅威論をベースにした考え方から早く抜け出す必要があります。

補佐官は語りました。「私は飲茶もマクドナルドも好きだよ。それでいいじゃないか」。